

学力向上の取り組みNEWS

～共に学ぼう、共に高め合おう～

不適切な利用って何？

枚方市教育委員会から、生徒の皆さんに貸与しているiPadはどのように使用しているか、記録されるよう設定されています。例えば、1ヶ月にデータ通信量が突出して多い生徒には、学校へ連絡が届きます。中には、1ヶ月で50G以上の利用をしている人もいました。強制的にフィルターを無効にし、Youtubeを使用したり、学校とは異なるアカウントでZoomを利用したりしているようです。生徒会からは「誰が見ても『適切だね』」と言ってもらえる使い方をしてください。」とお願いしています。枚方市としても、本校としても「学習のための利用」を強く訴えかけています。お子様の利用方法が適切なものか、ご家庭でも様子を見ていただきたくようお願いいたします。

次のものは禁止です



学校の許可なしの



ゲーム

マンガ

別アカウント

デジタルシティズンシップ 自分で考えよう

デジタルシティズンシップとは、「情報技術の利用における適切で責任ある行動規範」をさす。テクノロジーに関する倫理的・文化的・社会的問題を理解し、責任を持って、かつ**ポジティブ**にそれを利用するための規範

世界的なソーシャル・メディアの普及・進化に伴い、「デジタル・シティズンシップ教育」という21世紀の新しい教育が、国際機関や欧米を中心に世界各国で広がっています。日本でも文部科学省が進めるGIGAスクール構想（1人1台のタブレット端末）が全国で推進され、学校教育の情報化が一気に進んでいます。文部科学省は、推進するGIGAスクール構想を実現する上で、デジタル時代を生きる子どもたちが、そのリスクを理解し、安心・安全に利用しながら可能性を広げられるように「デジタル・シティズンシップ教育」の推進も行っています。

ネットとの付き合い方が問題視されていたり、不適切なネット利用が学校外で行われているなど、子ども達の抱える課題は欧米と日本で大きくは変化はありません。欧米で推進するデジタルシティズンシップでは**情報機器の利用を制限しても問題解決につながらないという考えを前提としています**。デジタルシティズンシップは定まった行動規範やルールを教えるだけでなく、行動の善悪を自分で判断できる力を身につけさせることを目的としています。

本校でも「**学びのために、自分を高めるために使用すること**」という大きなルールがあるのみで、**使用方法については各自に判断してもらうように**しています。市内でもトップクラスの自由度を取り入れた理由は、「気になったことを好きな時に調べられるように」「いつでも課題に取り組めるように」など、生徒の皆さんが効果的に学べるようにするためです。

今の中学生は進学先や社会人になったときに、個人の端末を持ったりし、「i Filter」などのセキュリティがない端末と付き合うことになります。つまり「なんでもできる」状態です。その時に「**自分で状況を判断できる**」ようになってほしいと考えています。

生徒も動き出しています！

昨年度に引き続き、生徒会に所属する生徒の皆さんが、適切なiPadの使用についてオンライン全校集会で「自分の力を伸ばすために使おう！」と訴えかけました。また、枚方市教育委員会とのオンライン会談の内容なども伝えてくれました。生徒会の皆さんは「iPadは諸刃の剣だ。正しく使えば、学力は伸びる。しかし、使い方を間違えば、学習の時間を大幅に失う。みんなにそれを知ってもらいたい。」「iPadのおかげで学び方が変わった。導入されてよかった。」と語っていました。

また、効果的なiPadの使い方や、学習に有効なサイト、課題の提出の仕方などを冊子にまとめて全クラスに配布してくれました。一中の生徒の皆さん、自分のiPadの使用方法は正しいでしょうか？もう一度見直してくださいね。

